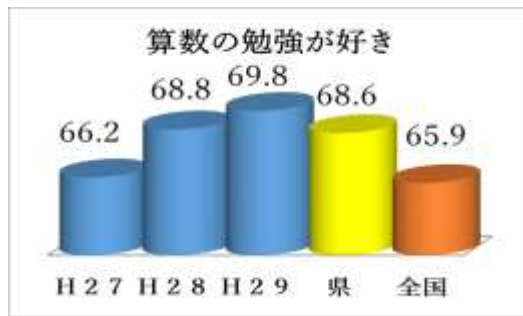


全国学力・学習状況調査には、国語、算数・数学の学力調査の他、児童・生徒質問紙および学校質問紙があります。この質問紙調査では、児童生徒の学校や家庭における学習状況や各学校での指導の様子がわかります。

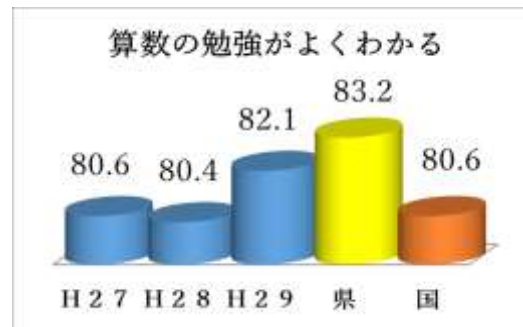
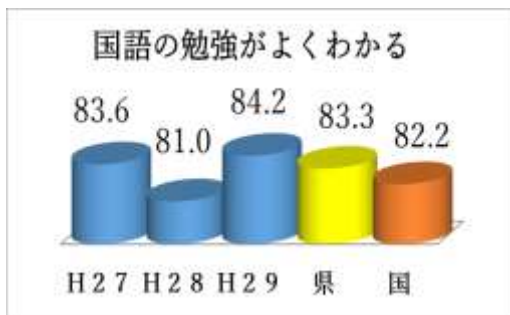
質問紙調査の結果分析より《児童・生徒質問紙》

《学習に対する関心・意欲・態度》

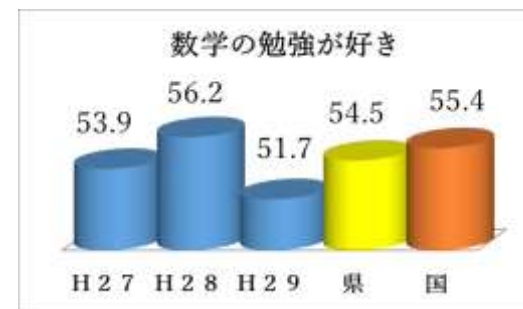
★教科の学習が好きですか 《小学校》



★教科の学習がよくわかりますか 《小学校》



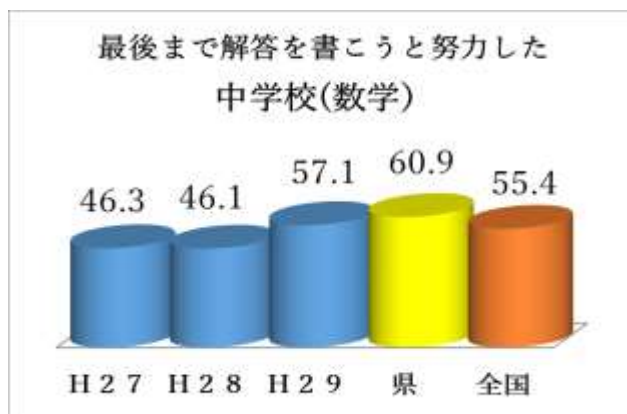
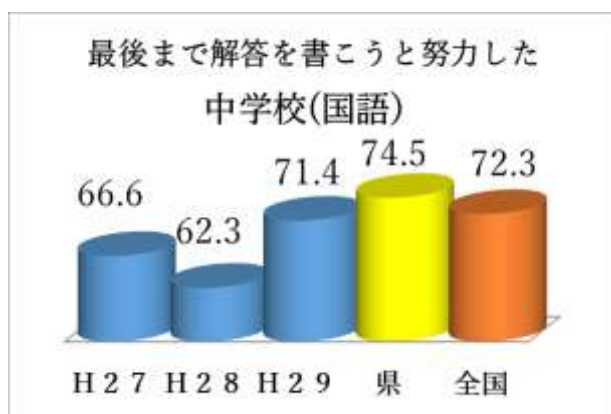
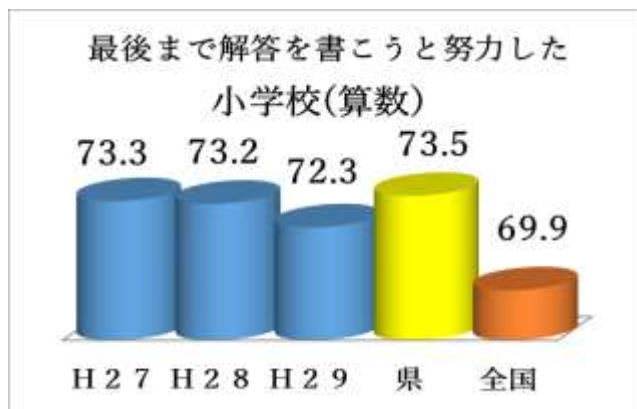
★教科の学習が好きですか 《中学校》



★教科の学習がよくわかりますか 《中学校》



★最後まで解答を書こうと努力したか。

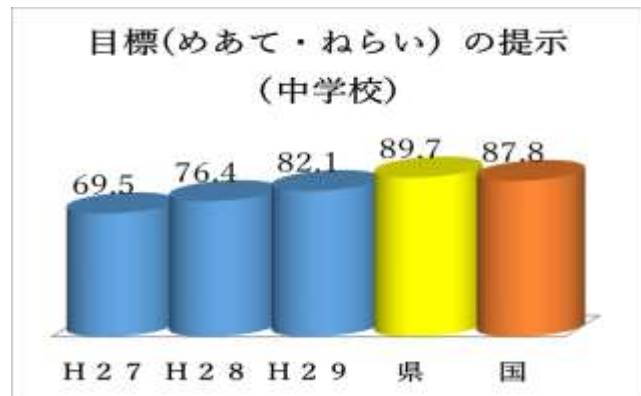
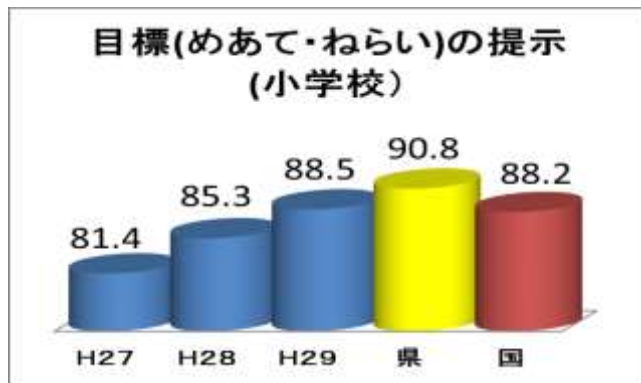


小学校では、国語科、算数科で「好き」と回答した児童が増加しています。また、授業が「よくわかる」と回答した児童の割合も国語科、算数科ともに増加しています。先生が教え込む講義型の授業から子どもたちの興味・関心を大切にされた授業への授業改善が進んできた成果が表れてきていると思われます。中学校の国語科では「好き」と回答した生徒の割合は増加しましたが、数学科では減少しました。授業が「よくわかる」と回答した生徒も国語科は増加しましたが、数学科では少し減少しました。教科に限らず、まず生徒の興味・関心に目を向けた授業への転換も課題のひとつといえます。生徒の興味・関心を高めながら、学習内容を習得できるように努めていく必要があります。

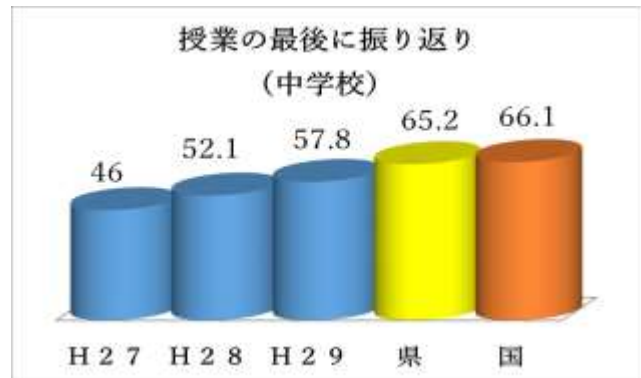
小・中学校とも、国語科、算数科の問題に解答する意欲が昨年度より大幅に増加しました。小学校は全国平均と比べても意欲的で、中学校も全国平均とほぼ同じ程度となって改善してきています。

《学校の指導・取組》

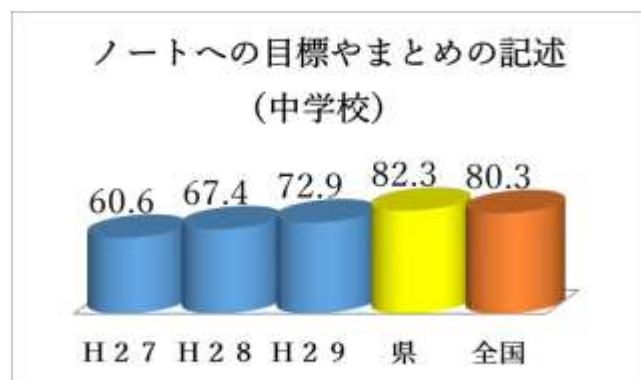
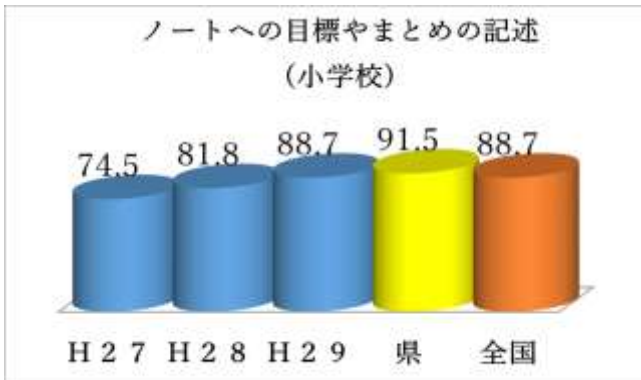
★授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていましたか。



★授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていましたか。



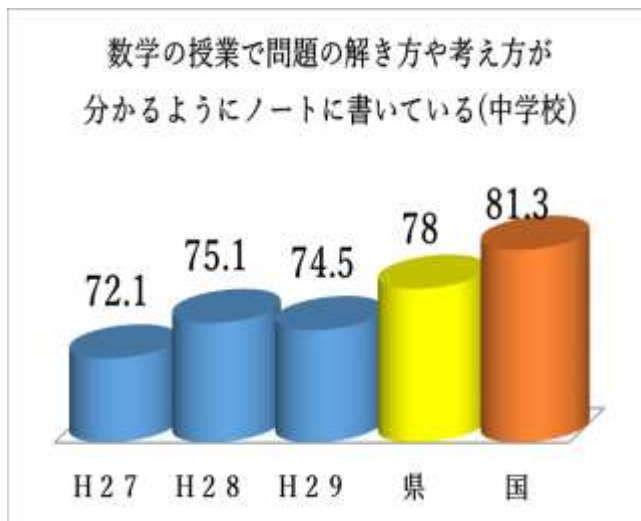
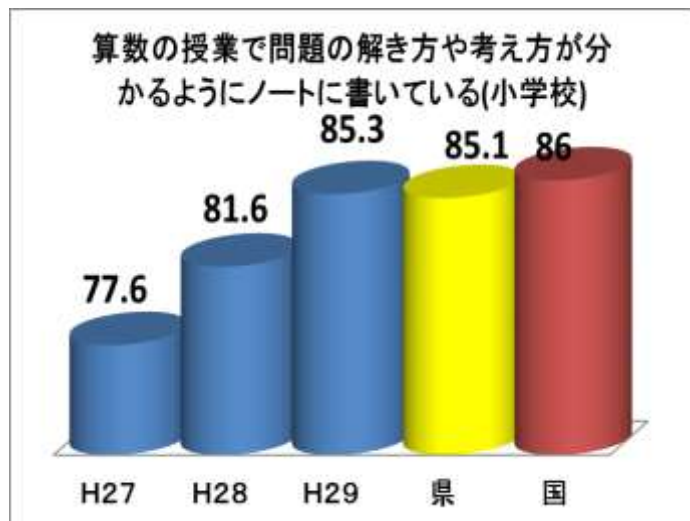
★ノートに学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていますか。



★国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。



★算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

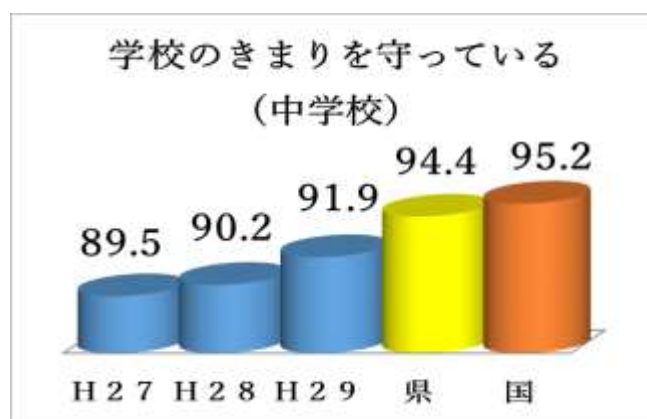
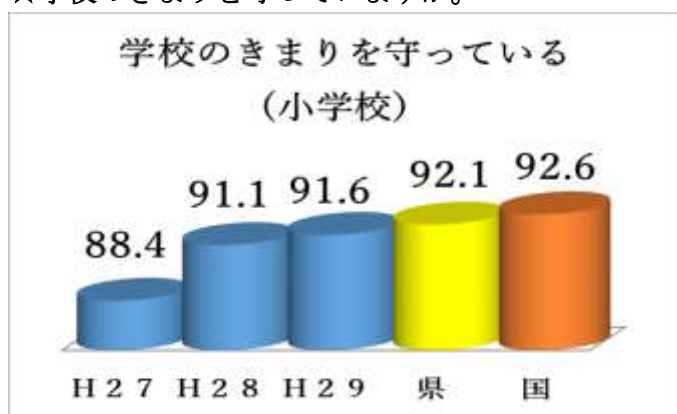


《調査に対する意識》

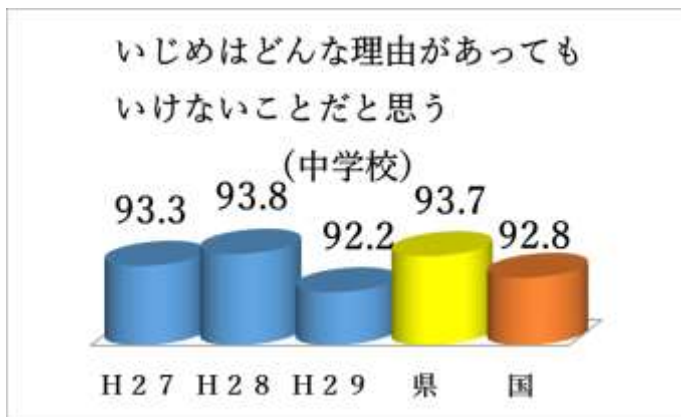
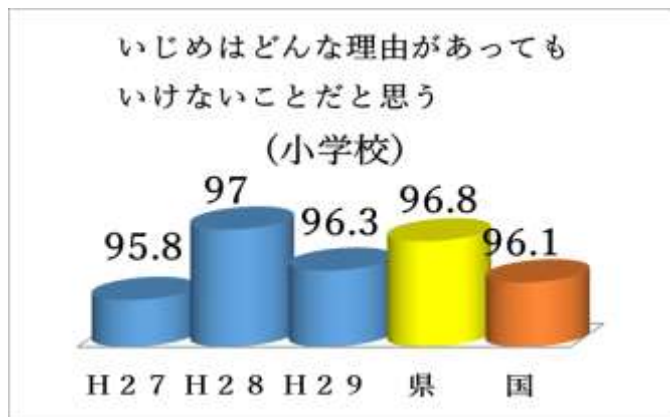
授業のはじめにめあてや目標を提示した授業は、小学校で3.2p、中学校では5.7p上昇しており、児童生徒が目的意識を持って取り組めるような授業が増えてきていることがわかります。授業後の振り返りについても小学校で5.3p、中学校で5.7p上昇しました。児童生徒が、学んだことを実感し、力として蓄積していけるように、今後も振り返りの時間の確保に努めていくことが重要です。ノートへの目標やまとめの記述については、小・中学校ともに上昇し、小学校では全国平均と同等となりました。また、小・中学校の授業では、目的意識を持って主体的に話したり書いたり、解き方や考え方が分かるようにノートに書いたりしている児童生徒が年々増加する傾向がありますが、まだ全国値に比べると低い結果となっており課題が見られます。

《児童生徒の規範意識》

★学校のきまりを守っていますか。



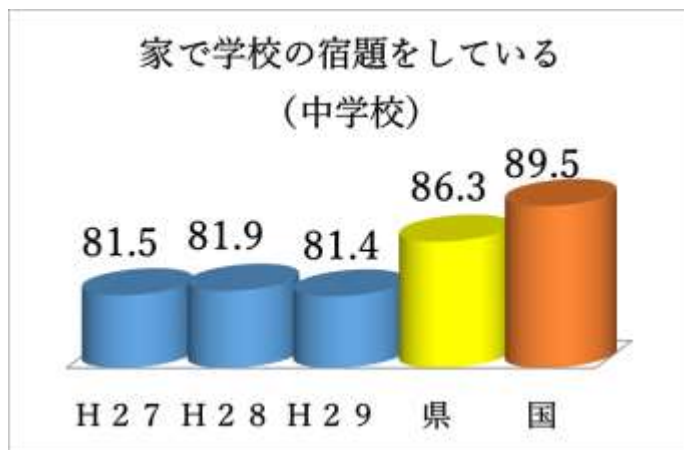
★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



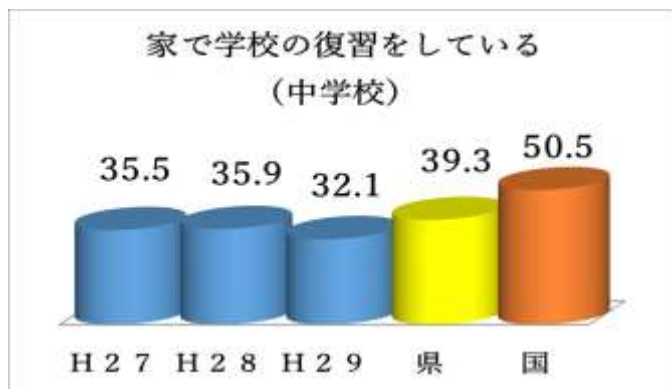
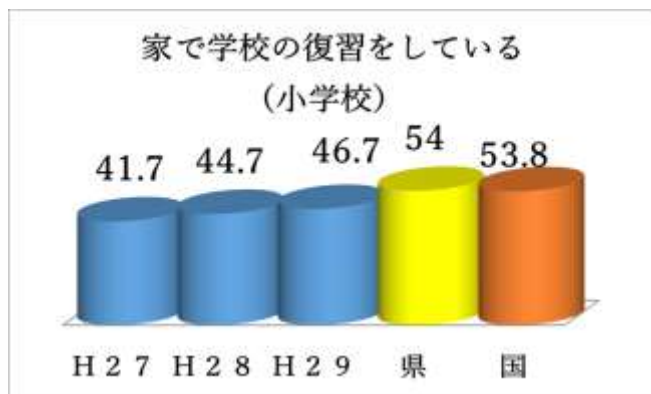
「学校のきまりを守っていますか」という問いについては、小・中学校で90%を超えています。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに対しては、小・中学校とも、全国平均と同じ程度で、子どもたちの規範意識を高める日頃の指導が定着してきています。

《家庭学習》

★家で学校の宿題をしていますか。

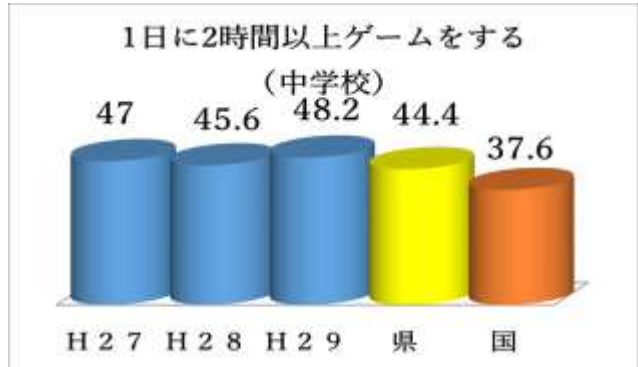


★家で学校の復習をしていますか。

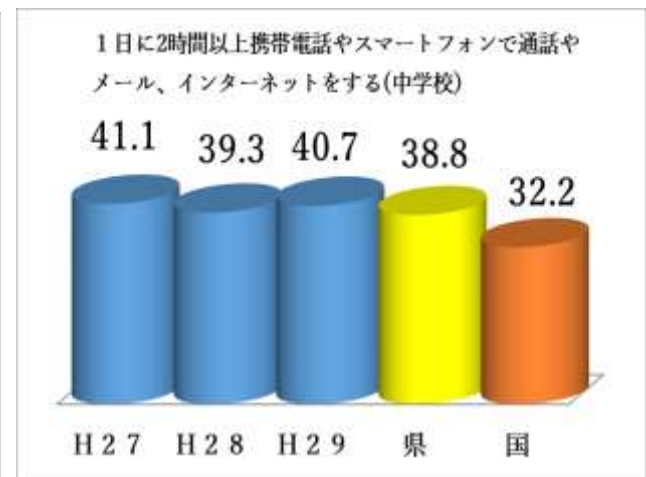
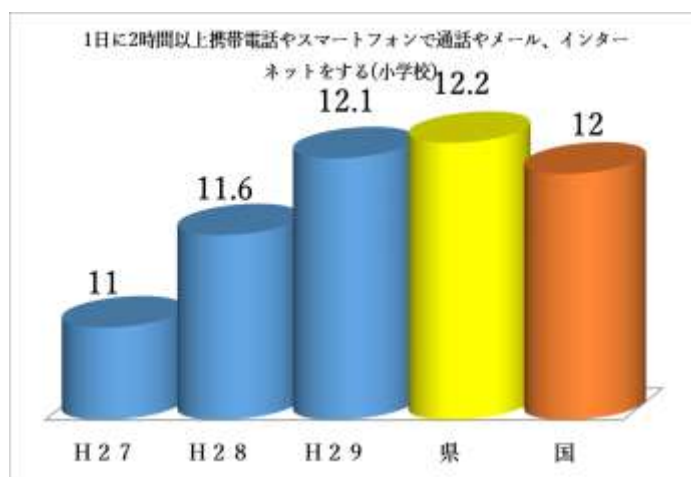


《メディアとの関係》

★普段、1日にどれくらいの時間、ゲームをしますか。



★普段、1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。



小学校においては、宿題をしている項目については全国平均を上回っていますが、中学校では全国値とはまだまだ開きがあります。また、復習については、小・中学校とも大きな開きが見られるのが課題です。また、1日に2時間以上ゲームをしている児童生徒の割合を全国値と比べると、小・中学校ではまだまだ課題がみられます。また、携帯電話やスマートフォンの使用についても1日に2時間以上使用する児童生徒の割合が小・中学校とも高くなっており、ゲームや携帯電話、スマートフォンの使用時間が全国と比べても高いことがわかります。家庭学習の定着と合わせて、これらの使用についてのルール作りにも取り組んでいく必要があります。